



北斗句会

十一月定例会(四日) メール句会 兼題 「虫」「栗」

五十音順 特選は特選 石田きよし選

毬栗のつくねんとしてけふも雨 大崎石州

鈴虫のソプラノ響く峡の宿 太田黒幸風

昏 一村の白昼締まる鉦叩 大森康政

夜の厨隅に陣どるちちろかな 竹内雲泉

秋の夜や朝刊ひらき爪を切る 田中資凡

昏 声明や紅葉降りしく平林寺 長池豆陽

満天に届けとばかり虫すだく 深見十万

昏 蔦もみじ地層の秘める太古かな 藤田紀潮

行く秋や思ひ思ひの羊雲 宮下ひかる

昏 宿坊の闇を深めて鉦叩 森田光彦

常連の減りゆく集ひ秋しぐれ 山縣秀雄

趣味高じ飼育始める虫鳴けり 吉岡誠山



夕映えを叩き釣り上ぐ紅葉鮒 石田きよし